

評価基準

審査項目	評価基準		配点	様式			
応募者の実績	<p>応募者の同種業務の完了実績についての実績を評価する。評価は実績1件ごとに次の基準で行う。</p> <p>同種業務の実績 [0.2]</p> <p>上記を実績1件ごとの評価とし、記載のあった実績5件までの合計を本評価項目の評価点とする。</p>		5	様式4			
担当チームの能力	<p>主任技術者及び専門技術者（建築・土木・プラント電気・プラント機械）の同種業務の実績（現在履行中の受注業務を含む）を評価する。評価は実績1件ごとに次の基準で行う。</p> <p>A. 同種業務の実績 [0.2]</p> <p>B. 携わった立場</p> <p>◇主任技術者の場合</p> <p>主任技術者（総括責任者）の立場で携わったもの [1.0]</p> <p>専門技術者（担当技術者）の立場で携わったもの [0.5]</p> <p>◇専門技術者の場合</p> <p>主任技術者（総括責任者）の立場で携わったもの [1.0]</p> <p>専門技術者（担当技術者）の立場で携わったもの [0.5]</p> <p>上記の基準に基づき [A×B] を実績1件ごとの評価とし、記載のあった実績5件までの合計を、本評価項目の評価点とする。</p>		主任技術者	5	様式5		
			建築	5	様式6		
			土木	5	様式6		
			プラント電気	5	様式6		
			プラント機械	5	様式6		
提案書	業務実施体制及び方針		業務実施体制	10	様式9		
			業務実施方針		様式10		
	業務実施スケジュール		業務スケジュールの妥当性、実現性について、総合的に評価する。評価の基準は次による。 極めて高い [1.0]、高い [0.8]、普通 [0.6]、やや低い [0.4]、低い [0.0]			10	様式11
	テーマに対する提案	I	<p>テーマⅠ、Ⅱ、Ⅲのそれぞれについて、提案の的確性（与条件との整合性が取れているか）、独創性（専門的知見に基づく独創的な提案がされているか）、実現性（理論的に裏付けられており説得力のある提案となっているか）等を評価する。</p> <p>評価の基準は次による。</p> <p>極めて高い [1.0]、高い [0.8]、普通 [0.6]、やや低い [0.4]、低い [0.0]</p>	I	10	様式12	
		II		II	10	様式13	
		III		III	10	様式14	
	ヒアリング		コミュニケーション能力、説明能力、業務への取組姿勢等を総合的に評価する。評価の基準は次による。 極めて高い [1.0]、高い [0.8]、普通 [0.6]、やや低い [0.4]、低い [0.0]			10	—
参考見積		<p>配点×最低参考見積金額÷参考見積金額。</p> <p>本プロポーザル参加者のうち最低参考見積金額を満点とし、他の提案者を相対的に評価する。少数の取り扱いには少数第2位を切り捨てる。</p>			10	任意様式	
合 計				100	—		

※上表中 [] を評価点とする。

※ [評価点] × 配点を各審査項目の得点とし、各審査項目の得点を合計した総得点が最も大きい者を特定する。

※2段階審査を実施する場合は、第一次審査で「応募者の実績」及び「担当チームの能力」について、第二次審査で「提案書」について評価する。